

**製品名: USP28 (3Y16) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe19672**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:50-1:100,FC 1:100-1:200
分子量	122kDa

**抗原情報**

遺伝子名	USP28
別名	USP28 ;
遺伝子 ID	57646.0
SwissProt ID	Q96RU2
免疫原	ヒト USP28 の合成ペプチド

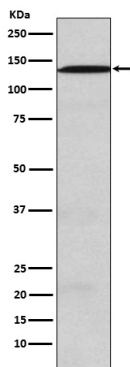
**背景**

DNA 損傷応答チェックポイントおよび MYC プロトオンコジーンの安定化に関与する脱ユビキチン化酵素。CLSPN などの DNA 損傷経路のタンパク質を特異的に脱ユビキチン化することで、DNA 損傷誘導性アポトーシスに関与する。DNA 損傷応答チェックポイントおよび MYC プロトオンコジーンの安定化に関与する脱ユビキチン化酵素。CLSPN などの DNA 損傷経路のタンパク質を特異的に脱ユビキチン化することで、DNA 損傷誘導性アポトーシスに関与する。また、CLSPN を脱ユビキチン化し、後期促進複合体/サイクロソーム (APC/C) による分解を阻害することで、G2 DNA 損傷チェックポイントにも関与する。一方、PLK1 は脱ユビキチン化しない。核質中の MYC を特異的に脱ユビキチン化し、プロテアソームによる MYC の分解を阻害します。核質中の FBXW7 アイソフォーム 1 (FBW7alpha) と特異的に相互作用し、SCF (FBW7) 複合体による MYC のユビキチン化を阻害します。一方、核小体中の FBXW7 アイソフォーム 4 (FBW7gamma) とは相互作用しないため、MYC の分解は可能であり、核小体における MYC の選択的分解を説明しています。ZNF304 を脱ユビキチン化し、プロテアソームによる ZNF304 の分解を阻害し、大腸癌 (CRC) 細胞のサブセットにおいて、活性化 KRAS プロモーターの高メチル化と腫瘍抑制遺伝子 (TSG) の転写サイレンシングを引き起こします (PubMed:24623306)。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



SW480 細胞溶解物中の USP28 発現のウェスタン ブロット分析。